

農林水産省登録  
フルーツセイバー® 第23006号  
兼商フルーツセイバー® 第23133号  
ホクコーフルーツセイバー® 第23134号

# フルーツセイバー 3つの特長



1

フルーツセイバーは3つの優れた力で、病害の発生、病害の拡大を防ぎます。特に分生胞子の発芽阻害に優れており、病害の発病前から発病初期の散布で安定した効果を発揮します(灰色かび菌にて確認)。

胞子発芽阻害作用

胞子形成阻害作用

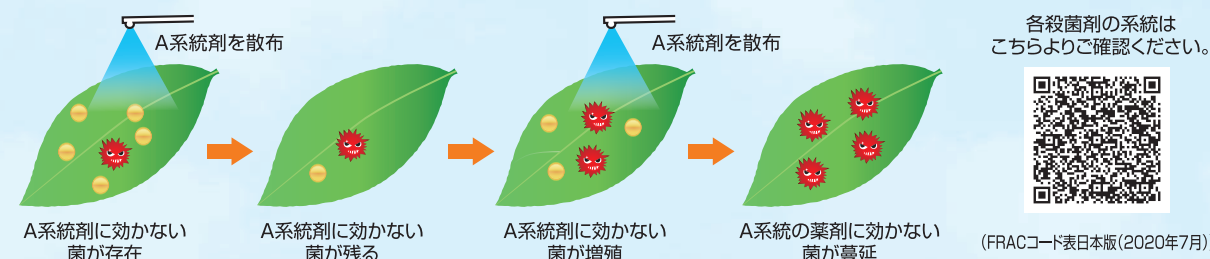
菌糸伸長阻害作用

※安定した効果、感受性低下を防ぐため、予防的にお使いいただくことをお勧めします。

2

QoI剤、DMI剤と異なる作用機を持つ殺菌剤(SDHI剤)です。既存の薬剤に耐性を示す灰色かび菌、カンキツそうか病菌にも効果があります。感受性の低下を防ぐため、作用性の異なる薬剤とのローテーション散布でお使いください。

## ■薬剤感受性低下菌増殖の流れ



3

委託試験、社内試験で供試した品種において、薬害発生事例はありません。

## <フルーツセイバーのかんきつ試験実施品種>

温州 宮川早生、青島温州、愛媛早生、岩崎早生、いさお早生、豊福早生、久能温州、興津温州、南柑20号、日南1号、上野早生、大津四号、原口早生、山下紅早生、ゆら早生、かごしま早生、早味かん

中晩柑 カボス、せとか、ネイハキンカン、甘夏

## 安全性

### ■人畜毒性:普通物

ラット経口毒性:LD50>2,000mg/kg(2000年)  
ラット経皮毒性:LD50>2,000mg/kg(2001年)  
ラット吸入毒性(4h):LD50>5,669mg/kg(2001年)  
(原体 RCC LTD. 委託試験)

### ■水産動植物に対する影響(原体・製剤)

\*本剤は、農薬登録における「水産動植物に有害な農薬」には該当しません。  
コ イ:LC50(96h) 0.57ppm(原体)、1.90ppm(20%製剤)  
ミジンコ:EC50(48h) 2.53ppm(原体)、7.75ppm(20%製剤)  
緑藻類:ErC50(72h)>4.02ppm(原体)、75.7ppm(20%製剤)  
(原体:2005年 化学物質評価研究機構、製剤:2009年 Biototech Co., Ltd.)

### ■訪花昆虫・有用昆虫への影響

ミツバチ、マメコバチ、クロマルハナバチ:訪花活動や群の維持に影響なし  
タイリクヒメハナカメシ、ミヤコカブリダニ、ヒメクサカゲロウ:影響なし  
蚕:影響なし

### ■生物農薬への影響

スワルスキーカブリダニ、クムリスカブリダニ、クロヒョウタンカスミカメ:影響なし  
ポタニガードES、マイコタール、タフバル:影響なし

## 果樹用殺菌剤



# フルーツセイバー®

有効成分:ベンチオピラド(FRACコード:7)…15.0%

人畜毒性:普通物※

※「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

## 適用病害および使用方法(かんきつのみ抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数*	使用方法
かんきつ	灰色かび病 そうか病 黒点病	1500~2000倍	200~700ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布

\*ベンチオピラドを含む農薬の総使用回数:3回以内

上記の他に、なし、ぶどう、かき、もも、ネクタリン、小粒核果類、りんご、おうとうにも適用があります。(適用病害および使用方法は版社のホームページにてご確認ください)

2020年10月1日現在の登録内容

### △効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- ぶどうの幼果期(小豆大)以降の散布は、果粉が溶脱するおそれがあるので使用をさけてください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

### △安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
- 保管:直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

万一、誤食・誤飲した場合には、速やかに医師の手当を受けてください。皮膚などにかかった場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の手当を受けてください。

## 上手な使い方

開栓前によく振ってください



予防的に散布してください

薬液が十分かかるように散布してください



フルーツセイバーは三井化学アグロ(株)の登録商標です。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。○空容器などは農場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記録しましょう。

本製品は農薬用殺菌剤であり、製品ラベルの記載以外には使用しないでください。本印刷物は2020年10月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び詳細はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

## フルーツセイバー協議会

アグロ カネショウ株式会社 北興化学工業株式会社 (事務局)三井化学アグロ株式会社

# 大切なかんきつを しっかり守る

フルーツセイバーは、発病前~発病初期の散布で優れた予防効果を発揮します。開花期~落弁期の散布で、かんきつの主要病害である灰色かび病、そうか病、黒点病を同時に防除することができます。



## 果樹用殺菌剤



# フルーツセイバー®



フルーツセイバーは三井化学アグロ(株)の登録商標です。

# 大切なかんきつを、しっかり守る



## 灰色かび病

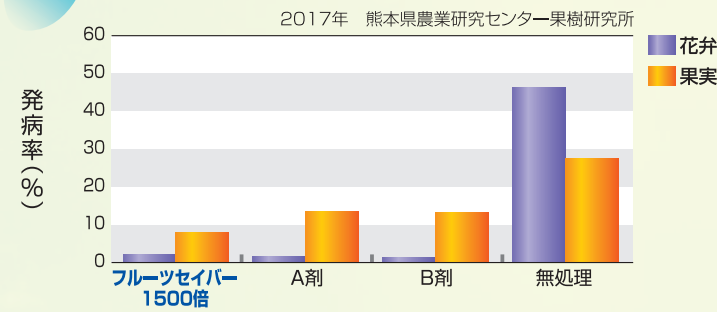
落弁期の花弁に灰色のかびを生じ落花を助長する。多発すると着果数が減少する。発病した花弁が幼果期まで果面上に残ると果実にかさぶた状の傷ができ、商品価値の低下につながる。開花期～落弁期に曇雨天が続くと発生が助長される。降雨量が多いときよりも降雨回数が多い場合に多発する。

### 防除のポイント

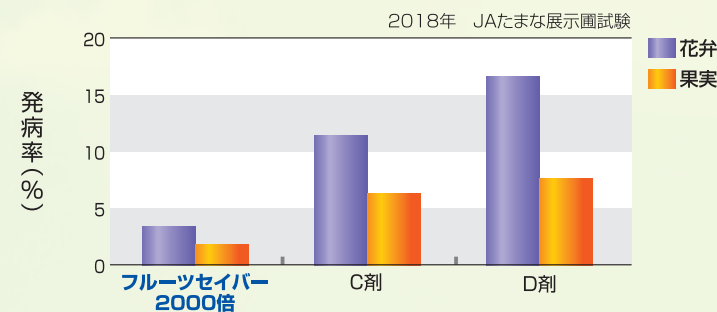
開花期～落弁期の防除を徹底しましょう。



灰色かび病に高い効果があり、花弁、果実における発病を防ぎます

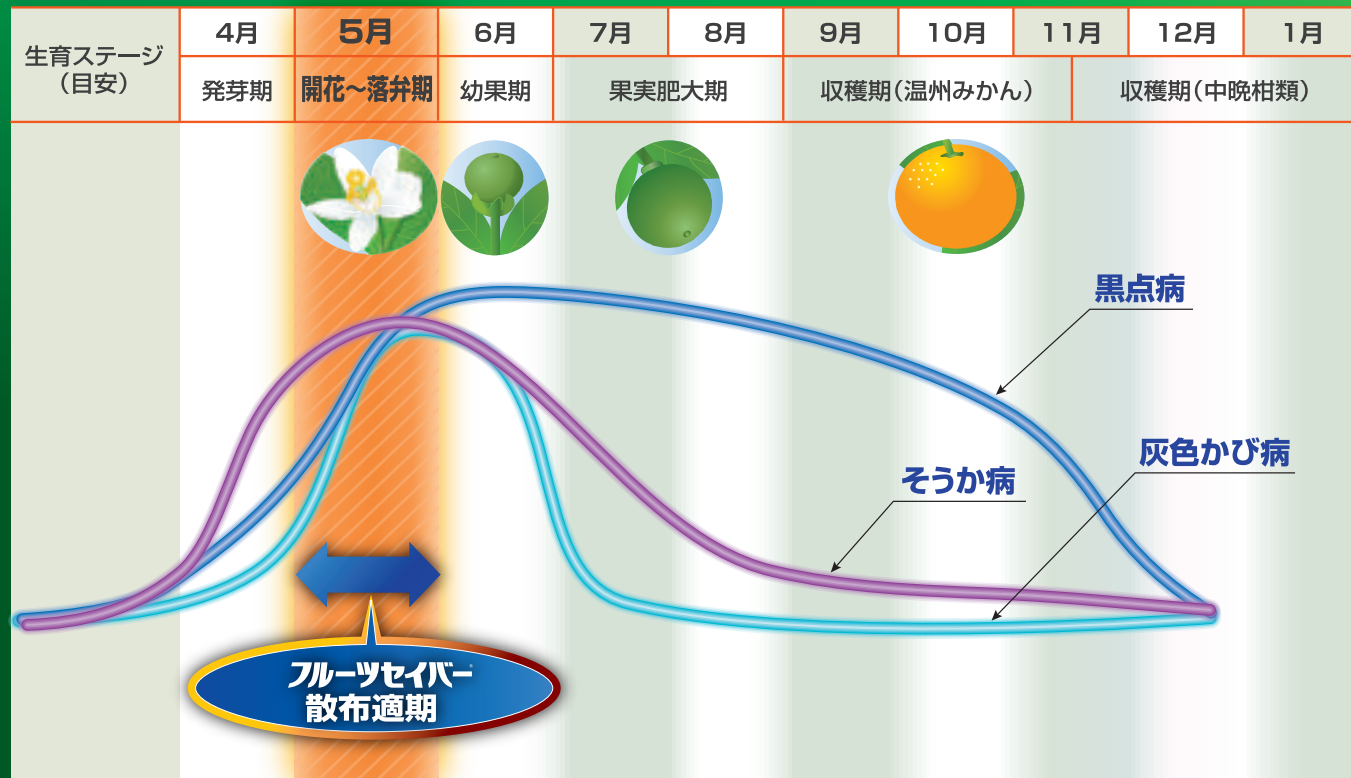


- 発生状況：中発生
- 品 種：豊福早生(温州)
- 処理方法：5月11日(開花後期)に動力噴霧器で十分量散布した。
- 調査：花弁については5月19日に1樹当たり100花中の発病花数を、果実については6月6日(生理落果前)に1樹当たり100果の発病果数を、日補防の調査基準に従い、発病花弁率、発病果率を算出した。



- 発生状況：中発生
- 品 種：フルーツセイバー D剤区：させぼ(温州)、C剤区：宮川早生(温州)
- 処理方法：5月3日(満開期(開花後期))に動力噴霧器で十分量散布した。
- 調査：5月9日(散布6日後)に発病花弁率を、5月22日(散布19日後)に発病果率を調査した(各区10樹1樹当たり50花弁、50果実)。

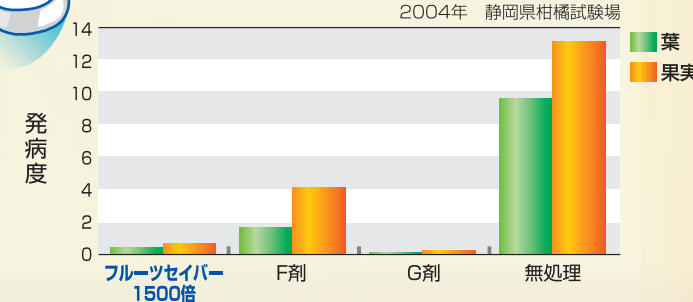
## かんきつの主要病害の一般的な発生消長



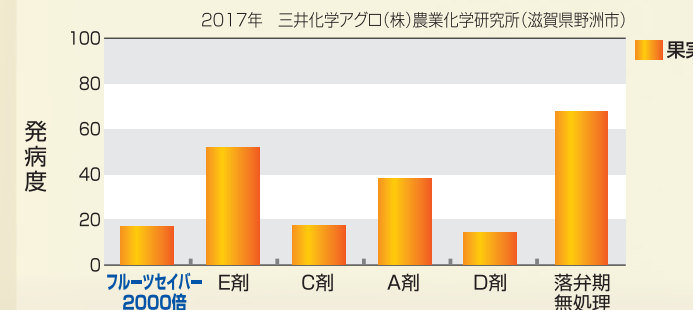
フルーツセイバーは開花期～落弁期の散布で、主要3病害(灰色かび病、そうか病、黒点病)の同時防除が可能!



カンキツそうか病に優れた効果があり、春葉、果実における発病を防ぎます



- 発生状況：中発生
- 品 種：青島温州(温州) 18年生 露地
- 処理方法：4月21日、5月18日、6月18日に動力噴霧器で3樹当たり40ℓの薬液を散布した。
- 調査：7月20日(最終散布32日後)に1樹当たり春葉200枚、果実100果(結果数が少量の場合は全果)の発病程度を日補防の調査基準に従い調査し、発病度を算出した。



- 発生状況：甚発生
- 品 種：宮川早生(温州) 17年生
- 処理方法：5月23日(落弁期)に動力噴霧器で3樹当たり15ℓの薬液を散布した。(一般防除として4月19日(発芽期)にマネーシDF(6000倍)を全試験区に散布した)
- 調査：7月10日(幼果期)に1樹当たり果実50果(結果数が少量の場合は全果)の発病果率を調査した。

## そうか病

葉、果実、枝にいぼ型やそうか(かさぶた)型の病斑が発生し、気温が低く、降雨回数が多いと多発する。春葉病斑が果実の伝染源となる。春葉の病斑上に大量の胞子が形成されるので、春葉での発生が少なくても果実で多発することが多い。

### 防除のポイント

発芽期の防除、および開花期～落弁期の灰色かび病との同時防除が重要です。



開花期～落弁期の散布で、黒点病に効果を発揮し、果実における発病を防ぎます

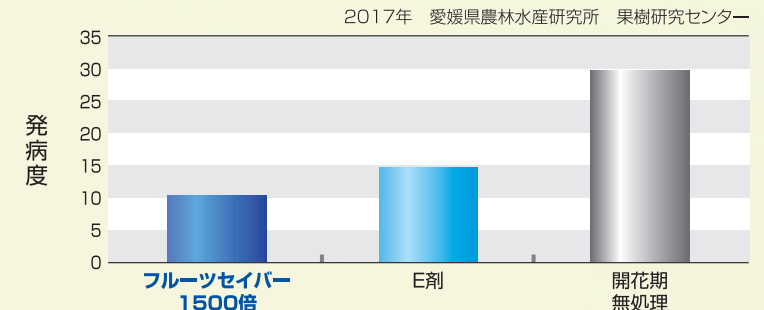
## 「せとか」における黒点病への効果

○試験方法  
下記表の通り、5月15日(開花5分)に灰色かび病防除と併せて1回目の薬剤散布を行い、その後6月1日、6月23日、7月20日、8月16日に共通の殺菌剤を散布した。

試験区	散布薬剤および散布月日				
	5月15日(開花5分)	6月1日	6月23日	7月20日	8月16日
フルーツセイバー区	フルーツセイバー 1500倍	マンゼブ剤	マンゼブ剤	マンゼブ剤	マンゼブ剤
E剤区	E剤	マンゼブ剤	マンゼブ剤	マンゼブ剤	マンゼブ剤
開花期無処理区	無処理				

試験期間中の積算降水量	5月15日	6月1日	6月23日	7月20日	8月16日
	42.5mm	73.0mm	169mm	116mm	



- 発生状況：中発生(枯枝が多い樹での試験)
- 品 種：せとか 10年生
- 調査：11月30日に1樹当たり50果について、日補防の調査基準に従い調査し、発病度を算出した。

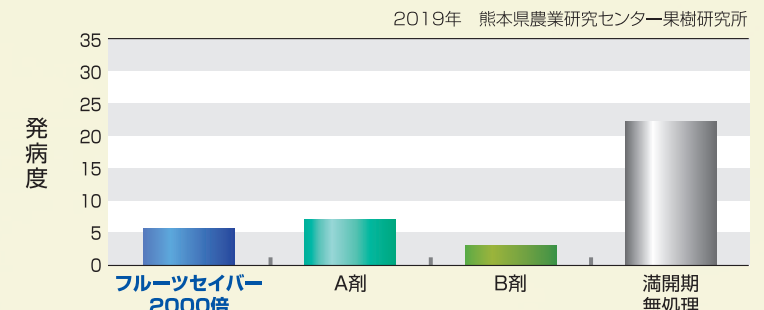
## 「興津早生」における黒点病への効果

○試験方法  
下記表の通り、5月4日(満開期)にそうか病、灰色かび病と併せて薬剤散布を行い、その前後の3月28日、7月9日、8月9日に共通の殺菌剤を散布した。

試験区	散布薬剤および散布月日			
	3月28日	5月4日	7月9日	8月9日
フルーツセイバー区		フルーツセイバー 2000倍		
A剤区	ジチアノン剤	A剤	マンゼブ剤	マンゼブ剤
B剤区		B剤		
満開期無処理区		無処理		

試験期間中の降水量	5月4日	5月14日	5月16日	5月20日	7月8,9日	8月14日
	12mm	0mm	24.5mm	580.5mm	373.5mm	



- 発生状況：中発生
- 品 種：興津早生(温州) 14年生
- 調査：8月14日に1樹当たり50果について、日補防の調査基準に従い調査し、発病程度3以上の果実で発病度を算出した。

## 黒点病

葉、果実、緑枝に0.1～0.5mmほどの黒点が発生する。果実に発生した場合は著しく商品価値が低下する。樹冠の枯れ枝中に形成された胞子が伝染源となり、枯枝直下の果実は濃厚感染し、雨滴の流れに沿った涙斑状や泥塊状の病斑を形成する。果実発病は、降雨量、降雨日数との関係が大きい。

### 防除のポイント

開花期～落弁期の灰色かび病、そうか病との同時防除、および梅雨時期以降の防除が重要です。

